岩手県林業技術センター　**研 究 成 果 速 報**　No. 75　平成 12 年 5 月 10 日発行

プロセッサの修理費はどのくらいかかるのか？

1　調査の背景と目的

プロセッサは、本県の高性能林業機械全体の４割を占めており、プロセッサを中心とした機械作業システムの普及が、素材生産現場の経営及び労働環境の改善の上から重要である。

普及上の問題としては、修理費等の機械経費が高いとされていることから、修理等にかかる経費について、現場の実績により明らかにする必要がある。

2　調査方法

GP-30A(ﾍﾞｰｽﾏｼﾝ：EX-120L)、GP-45(ﾍﾞｰｽﾏｼﾝ：EX-150)の２機種（２台）について、導入後の詳細な保守・修理記録及び累積稼動時間（アワーメータ表示）を調査し、導入後経過年数により集計、分析を行った。

3　調査結果

２機種とも年間の平均稼動時間がほぼ1,000時間のペースで直線的に増加しているのに対し、修理費は導入後年数の経過とともに増加する２次曲線的な増加傾向を示した。

修理費の多くは枝払い・造材等を行うヘッド部が占め、特に導入後５年前後までベースマシンを大きく上回っていた。

導入後７年経過、累積稼動時間７～８千時間に達した時点の保守・修理費累計額は、GP-30A(EX-120L)で1,733千円、GP-45(EX-150)で2,884千円であった。

4　成果の活用

プロセッサの保守・修理費率は、５年（耐用年数）で取得価額の５割前後とされてきたが、年間の稼動時間が７００時間程度といわれている建設用機械（バックホウ等）で２～３割であり、本事例調査結果では７年間の保守・修理費累計額が取得価額の１～２割程度となっていたことから、適正な維持・管理により保守・修理費率は、従来の算定よりも低く抑えることが可能であると考えられた。

さらに調査を重ね、林業の現場実績に基づいた保守・修理費率を算定することにより、プロセッサの導入をさら促進出来る見通しが得られた。

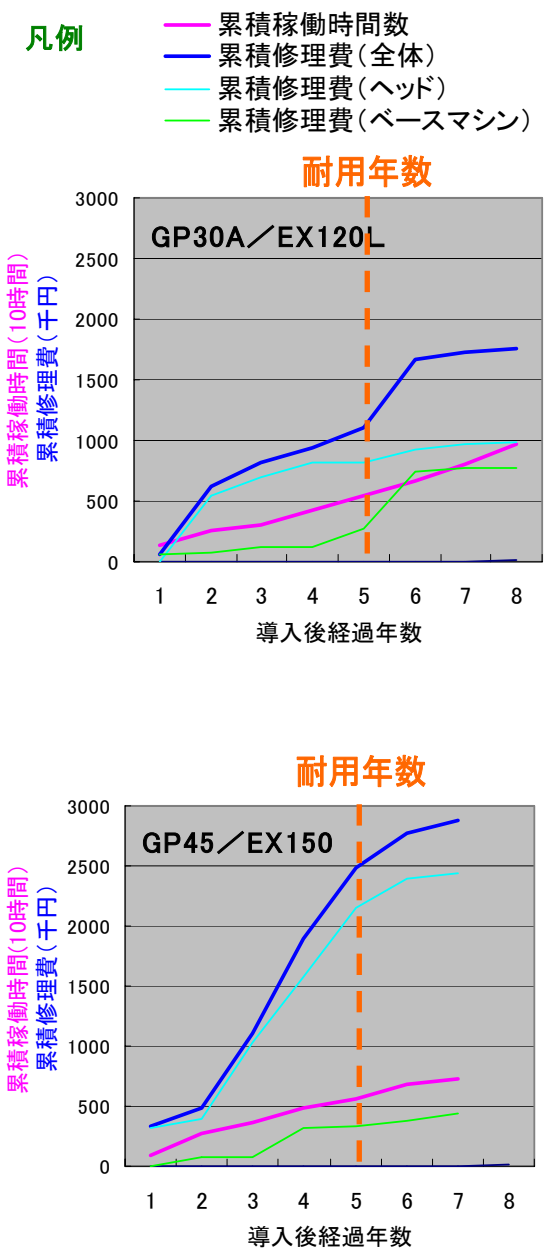
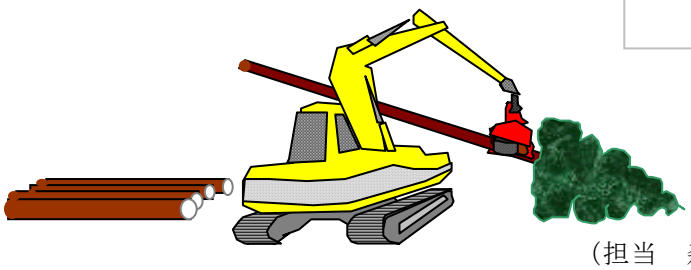


図　累積稼働時間と修理費の関係



（担当　森林資源部　主任専門研究員　深澤　光）

連絡先　028-3623 岩手県紫波郡矢巾町大字煙山第三地割字清水 560－11　TEL 019-697-1536
岩手県林業技術センター　FAX 019-697-1410
ホームページアドレス　http://www.pref.iwate.jp/~hp1017/